2019.04.10

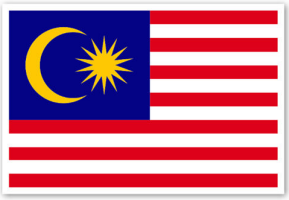
InterRisk Thai Report ＜2019 No.08＞

東南アジアのドローン規制

空撮による写真や動画のための最新テクノロジーに関心がある写真家やビデオ撮影者を中心に無人航空機 (UAV：Unmanned aerial vehicle)、いわゆる“ドローン”の人気が高まっています。今日、ドローンは軍事・輸送・調査・安全点検など、様々な分野で活躍していますが、使い方を誤り不適切な操作をすると危険なだけでなく、他者のプライバシー等を侵害することもあります。そのため、ドローンを使用する際は各国の規制を理解し、遵守することが重要です。

本稿では東南アジア諸国のドローンに関する法規制について紹介します。

国	一般規則
1. タイ 	➢ 重量 2kg 未満の趣味、娯楽用ドローンは以下の使用条件を守らなければならない。 1) 操縦者は 18 歳以上でなければならない。 2) 飛行エリアの車両、構造物、建物所有者の許可を得なければならない。 3) 航空路誌（Aeronautical Information Publication Thailand）に掲載されている制限地域、危険地域、および政府組織の建物、病院の周囲で許可なくドローンを飛行させてはならない。 4) 操縦者の視界の範囲内で飛行させなければならない（モニターなどの機材による確認のみでの飛行は不可）。 5) 有人飛行機の近くでドローンを飛行させてはならない。 6) 高度 90m（295 feet）を超えてドローンを飛行させてはならない。 7) 人・車両・構造物・建物から水平距離 30m（100 feet）以内の場所でドローンを飛行させてはならない。 8) 特別な許可なしに空港または臨時飛行場の 9km（5 miles）以内でドローンを飛行させてはならない。 ➢ 重量 2kg 以上 25kg 未満のドローンは以下の使用条件を守らなければならない。 1) 2kg 未満のドローンと同じ規定を守らなければならない。 2) 操縦者は 20 歳以上でなければならない。 3) 麻薬取締法で有罪の前歴がある者は操縦してはならない。 4) 国家の安全保障を脅かしてはならない。 5) 飛行エリアの土地所有者に許可を得なければならない。 6) 事故、救急、コントロール喪失時などに備え、緊急対応計画を作成しなければならない。 7) タイ民間航空局（Civil Aviation Authority of Thailand）にドローンを登録しなければならない。 8) ドローンの飛行中、常に当該機体の登録証を携行しなければならない。 9) ドローンの飛行中、常に消火器と保険証書を携行しなければならない。保険は人身事故、対物事故をカバーし、1 回の飛行で 100 万バーツ以上の保険金額を設定しなければならない。 10) 人、車、建物から 50m（150feet）以上離れてドローンを飛行させなければならない。

	11) 事故が発生した際、操縦者は速やかに警察へ届出なければならない。 ➢ 重量 25kg（55 pounds）以上のドローンを使用する際はタイ運輸省（Ministry of Transport）へ都度申請しなければならない。
2. ベトナム 	➢ 全てのドローンに対して、飛行毎の事前許可取得が義務付けられている。許可申請は飛行予定日の少なくとも 14 日前までに Operations Bureau of the General Command Post へ提出しなければならない。 ➢ 放射線物質、引火性物質、爆発物の運搬にドローンを使用してはならない。 ➢ 有害物質や危険物の打ち上げ・発射・投げ捨てにドローンを使用してはならない。 ➢ 無許可でドローンに空撮用機材を搭載してはならない。 ➢ 無許可で旗や横断幕を付けてのドローンの飛行、パンフレットの散布、および拡声器によるプロパガンダ目的でのドローンの飛行をしてはならない。
3. シンガポール 	➢ 重量が 7kg（15 pounds）未満のドローンを高度 60m（200feet）以下で飛行させる場合、許可を取得する必要はない（ただし、下記※を除く）。 ➢ 人、群衆の上空でドローンを飛行させてはならない。 ➢ 緊急事態対応の妨害をしたり、車両の上を運転者の邪魔になるように飛行させてはならない。 ➢ 空港から 5km（3.1 miles）以内の場所でドローンを飛行させてはならない。 ➢ 好天候下の視認性が良い状況で飛行させなければならない。 ➢ ドローンは操縦者の視界の範囲内で飛行させなければならない。 ※シンガポールでドローンの飛行に許可が必要なケース 以下の条件でドローンを飛行させる場合、許可の取得が義務付けられている。 ➢ ドローンの重量が 7kg（15 pounds）以上 ➢ 高度 60m（200feet）を超える飛行 ➢ 飛行禁止空域での飛行 ➢ 商業目的での飛行
4. マレーシア 	➢ クラス A, B, C, G 空域（航空交通管制圏内）または高度 120m（400feet）以上でドローンを使用する場合、Director General の許可が必要となる。 ➢ 他の飛行機、人、車、船、構造物等との衝突を避けるため、ドローンは操縦者の視界の範囲内で飛行させなければならない。 ➢ 高所作業目的でドローンを使用する場合、Director General の許可が必要となる。 ➢ 重量が 20kg（44 pounds）を超えるドローンを飛行させる場合は耐空証明を取得しなければならない。

国	一般規則
5. Indonesia 	➢ 高度 150m（492 feet）を超えてドローンを飛行させてはならない。 ➢ 重量 7kg（15.4 pounds）以上のドローンを飛行させてはならない。 ➢ 空港から半径 15km 以内（9.32 miles）でドローンを飛行させてはならない。 ➢ 群衆や人口密集エリアの上空でドローンを飛行させてはならない。 ➢ 夜間にドローンを飛行させてはならない。 ➢ 走行中の車両からドローンを飛行させてはならない。 ➢ ドローンは操縦者の視界の範囲内で飛行させなければならない。 ➢ 法規制に違反した場合、懲役および最高 66,000 ユーロの罰金が科される。
6. フィリピン 	➢ 夜間にドローンを飛行させてはならない。 ➢ ドローンは操縦者の視界の範囲内で飛行させなければならない。 ➢ 群衆や、学校、市場等の人口密集エリアの上空でドローンを飛行させてはならない。 ➢ 第三者から 30m（98 feet）以上離れてドローンを飛行させなければならない。 ➢ 以下の条件でドローンを使用する場合、事前の許可が必要となる。 1) 地上から 120m（400feet）以上でドローンを使用する場合 2) 空港から半径 10km 以内（6 miles）でドローンを使用する場合 ➢ ドローンを商用利用する場合、その重量は 7kg（15 pounds）以上でなければならない。 ※フィリピンでのドローンの飛行に必要な証明書 重量 7kg（15 pounds）以上の大型ドローンを商用利用する場合は CAAP（Civil Aviation Authority of the Philippines）発行の UAV 免許が必要となる。UAV の免許には以下の 3 種類がある。 o UAV Controller / Pilot Certificate o UAV Registration o UAV Operator Certificate UAV Controller / Pilot Certificate の免許を取得するためには、講習を受講し、試験と技術審査に合格しなければならない。有効期間は 5 年間。 UAV Operator Certificate の免許を取得するためには a letter of intent、operations specifications が必要。有効期間は 3 年間。
7. ミャンマー 	➢ 空港から半径 8km（5 mile）以内でドローンを飛行させてはならない。 ➢ ドローンは操縦者の視界の範囲内で飛行させなければならない。 ➢ 高度 120m（400 feet）を超えてドローンを飛行させてはならない。 ➢ 夜間にドローンを飛行させてはならない。 ➢ 速度 160km/h（100 mph）以上でドローンを飛行させてはならない。 ➢ 人の上空を飛行させてはならない。 ➢ 人口が少ないエリアを除き、走行中の車両からドローンを飛行させてはならない。

※上記の和文は当社で独自に作成した参考和訳であり、原文（英文）が必ずしも正しく表現されていない可能性があります。ご了承ください。

執筆者：InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd. Mr. Sutiwat Prutthiprasert

参照

https://uavcoach.com/drone-laws/
https://www.caat.or.th/wp-content/uploads/2017/02/Announcement-of-the-Ministry-of-Transport.pdf
http://moj.gov.vn/vbpq/en/lists/vn%20bn%20php%20lut/view_detail.aspx?itemid=2867
https://www.caas.gov.sg/public-passengers/unmanned-aircraft-systems
http://www.dca.gov.my/aviation-professionals/faq/faq-on-unmanned-aircraft-system-uas/
http://uavphilippines.com/dl/20151208%20-%20CAAP%20MC%2029-15.pdf

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合せ先
MS&AD インターリスク総研（株）　総合企画部　国際業務グループ
TEL.03-5296-8920
https://www.irric.co.jp/

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先
InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.
175 Sathorn City Tower. South Sathorn Road.Thungmahamek. Sathorn. Bangkok 10120. Thailand
TEL: +66-(0)-2679-5276
FAX: +66-(0)-2679-5278
https://www.interriskthai.co.th/

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2019